

地域スポーツの活性化に向けた取り組み —アクティブつくばを事例として—

澤野 亮太*

1. 研究の目的・課題・方法

近年、スポーツが国民の間に広く浸透し、スポーツを行う目的が多様化してきている。さらに、地域スポーツクラブの育成、競技力の向上、スポーツを通じた国際交流や社会貢献など、スポーツを巡る状況は大きく変化してきている。「スポーツ基本法」が平成 23 年に成立し、この政策の下、地域スポーツ活性化に向けた取り組みがなされている。本研究では、つくば市の「アクティブつくば」を事例として、本クラブの活動が地域スポーツの活性化に寄与するものであることを検証し、今後の地域スポーツの活性化に向けた取り組みについて考察していくことにする。

2. 構成

- 序章 研究目的と課題
- 第1章 スポーツの意義
- 第2章 スポーツの変遷
- 第3章 スポーツ活性化に向けた取り組み
- 第4章 スポーツ活性化に向けたつくば市の取り組み
- 第5章 「アクティブつくば」の事例研究
- 第6章 つくば市の地域スポーツ活性化の可能性
- 終章 まとめ

3. 概要

序章では、研究目的と課題を明示した。

第1章では、スポーツの意義を①心身共に豊かになる、②青少年の健全な育成、③連帯感の醸成、④社会的活動の活性化とした。

第2章では、世界的にはスポーツが上流階級の特権であったものが、大衆化していくことを論じた。日本では、1961年の『スポーツ振興法』がきっかけで一般国民の間に広まっていったことを明らかにした。

第3章では、スポーツ活性化に向けた全国的な取り組みについて、学校スポーツと地域スポ

* 筑波大学人間学群教育学類 4 年

ーツを取り上げ、具体的には前者は学校体育や部活動の充実化、後者は指導者確保策や既存のスポーツ施設の有効利用などの対策が取られていることの現状を確かめた。

第4章では、つくば市のスポーツ振興策の現状について論じた。つくば市民のスポーツ活動に対する満足度が減少している。つくば市とスポーツクラブの協働による活動があまり積極的に行われていないといった問題があることを指摘した。

第5章では、「アクティブつくば」を事例として地域スポーツクラブの活動を考察した。「アクティブつくば」と他のスポーツクラブのネットワーク化によって、市民がスポーツ活動を享受することができる。また、他のスポーツクラブの活動が充実したものになっていくという意味で地域スポーツの活性化に寄与するものであることを検証した。

第6章では、つくば市の地域スポーツ活性化の可能性について、第5章の「アクティブつくば」の事例研究の内容を踏まえて、「アクティブつくば」はつくば市の地域スポーツを活性化させるものであるとした。また、今後のさらなる地域スポーツ活性化のために、「アクティブつくば」とつくば市との連携・協力が求められている。「アクティブつくば」はスポーツボランティアを受け入れる必要があるとした。

終章では、本研究のまとめをし、今後の課題として、つくば市民や「アクティブつくば」に対するより多くのインタビュー調査やアンケート調査が必要であるとした。

4. 主要参考文献

黒須充編(2008)『総合型地域スポーツクラブの時代 第2巻 行政とクラブの協働』創文企画
堀・木田・薄井編(2007)『スポーツで地域をつくる』東京大学出版会

(指導教員 手打明敏)